

## 彦根および長浜統合新校の校名案について

平成26年3月24日開催の教育委員会において、平成28年度に開校する彦根および長浜統合新校の校名案を以下のとおり選定しましたのでお知らせします。

※ なお、今後、県議会において「滋賀県立学校の設置および管理に関する条例」の改正を経て校名は正式に決定する予定です。校名は、それまで仮称として使用します。

### 1 統合新校の校名案

#### (1) 彦根統合新校（彦根西高等学校と彦根翔陽高等学校の統合）

ひこねしょうせいかん  
滋賀県立彦根翔西館高等学校

#### 【選定理由】

彦根統合新校は、「彦根翔陽高校」「彦根西高校」両校の学びを融合させ、9学級規模の総合学科として、新たにスタートするものです。

この校名は、地域に根ざした学校にふさわしく「彦根」を冠しており、統合する両校の校名の一文字ずつを付けることで、両校の歴史や伝統さらにはこれまでの教育実践を引き継いでいくことを表し、新校の新しい未来を協力して創っていくという思いが込められています。

「翔」は朝日、「西」は夕日を連想させ、一日一日有意義にこの学びの館でかけがえのない高校生活を過ごしてほしいという願いが込められています。「館」を校名に付けることは、みんなで学ぶという意味合いを持ち、県立の高校の校名としては新鮮であり、音の響きもよく、最もふさわしいものです。

## (2) 長浜統合新校（長浜高等学校と長浜北高等学校の統合）

ながはまきた

# 滋賀県立長浜北高等学校

### 【選定理由】

長浜統合新校は、「長浜高校」「長浜北高校」両校の伝統や成果等を大切にしつつ、湖北地域の中核的な普通科単独校として、グローバル社会で活躍する資質と能力の育成という高い目標を掲げ、新たにスタートするものです。

統合する両校は、これまで学習と部活動の両立を大切にし主体的に取り組む中で、確かな学力や健全な身体や豊かな心を培うなど、文武両道を重視した教育活動を行い成果を上げてきています。

この校名は、「長浜」「長浜北」両校の校名が息づいており、両校の良き伝統や成果等を継承しつつ、両校が力を合わせ、さらなる高みに向かって取り組んでいくという新たな出発への決意を表しています。

また、応募数も相当数あり、地域の期待を担い、地域全体から広く支持されている校名でもあり、最もふさわしいものです。

## 2 選定経緯

- 平成28年4月に開校を予定している統合新校について、地域に根ざした新校とするため、広く県民等に校名の一般公募を実施しました。
- 平成25年10月1日から10月31日までの公募期間中に寄せられた校名案は、彦根統合新校については、応募総数116件、応募校名数92点、長浜統合新校については、応募総数139件、応募校名数85点の応募がありました。
- 統合新校設置懇話会から、校名公募の結果に基づき、校名候補について意見を伺いました。  
校名候補として、彦根統合新校は、「彦根翔西館」「彦根芹川」の2案、長浜統合新校は、「長浜」「長浜北」「長浜開知（開智）」「長浜桐豊」「長浜ブライトン」の5案が教育委員会に報告されました。
- 平成26年3月24日（月）の教育委員会において、校名公募の結果や統合新校設置懇話会の意見を踏まえ、彦根統合新校については、「彦根翔西館高等学校」、長浜統合新校については、「長浜北高等学校」を選定しました。